

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

(令和6年度)

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については、個別法による原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

(3) 消費税等の会計処理方針について

消費税等の会計処理は、税込方式により行っている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
事業費諸活動積立資産	277,483	0	109,403	168,080
小 計	277,483	0	109,403	168,080
合 計	100,277,483	0	109,403	100,168,080

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	100,000,000	100,000,000	0	0
小 計	100,000,000	100,000,000	0	0
特定資産				
事業費諸活動積立資産	168,080	168,080	0	0
小 計	168,080	168,080	0	0
合 計	100,168,080	100,168,080	0	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	19,690,000	2,953,500	16,736,500
合 計	19,690,000	2,953,500	16,736,500

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
国内公社債			
愛知県令和3年度第15回公募公債	100,000,000	92,185,300	△ 7,814,700
合 計	100,000,000	92,185,300	△ 7,814,700

6 リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

(1)リース資産の内容

その他固定資産

主としてサーバ、コンピュータ等の什器備品である。

(2)リース資産の減価償却の方法

1 重要な会計方針「(2)固定資産の減価償却の方法」に記載のとおりである。

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
諸謝金への振替	16,500
旅費交通費への振替	17,530
通信運搬費への振替	24,776
消耗品費への振替	50,542
手数料への振替	55
合 計	109,403